



秋田県立比内支援学校 かづの校 教育プラン

I 学校の現状と課題・学校を取り巻く将来の状況の予測

【学校の現状】

- 平成30年度の児童生徒の在籍数は、小13名、中11名、高29名の計53名である。今後50名くらいで推移する予定である。障がいの多様化傾向は引き続けている。児童施設の東山学園から約3割が通学している。東山学園に入所している生徒も、卒業後は自宅や地元に戻るケースが多くなった。スムーズな移行のため、早い段階から地元の関係機関と連携して就労先や日中活動の場を探している。鹿角での一般就労については、希望者の全員が実現できているが、新たな職場開拓は地場産業を切り口に探しているところである。
- 「街は大きな教室だ」を合言葉に、地域での本物の体験を重視している。伝統的な花輪ばやしへの参加、中学部は花輪一中との交流、高等部は横丁との交流を継続している。花輪商店街との花いっぱい交流、NEXCO東日本とのコラボによる花輪SA花壇設営を発展的に展開している。また、文部科学省からの委託を受け、授業の質の向上を目指して実践研究充実事業に取り組んでいる。
- センター的機能は、市町教育委員会との連携ができており、地域研修会の開催や研修会への参加協力が軌道に乗っている。ケース検討や校内研修会のニーズが高い。

【課題】

- 人間関係をうまく築くことができない生徒が増えており、生徒指導を中核にした指導が必要である。定期的な個別面談や、日々の何気ない会話から解決の糸口を一緒に探し、少しでも関係改善につなげるように心掛けている。心の安定が生活力の向上に不可欠だと考えているため、生徒指導を組織的に進めていくことが課題である。
- 地域の小・中・高等学校が自校解決していくために、職員研修などにより校内支援体制を機能化させる方策を一緒に考えていかなければならない。

【学校を取り巻く将来の状況の予測】

- 今後5年間の児童生徒数は、50名くらいの予測である。隣接する東山学園からは全体の3割程度が通ってくると考えられる。また、措置による入所、年度途中の入所なども可能性としてあり、2次障がいや生徒指導の難しいケースの転入が予想される。
- かづの校センター的機能に対するニーズはますます高まる予測であるが、就学前の園児やその保護者の教育相談は、地教委や小学校の通級指導教室担当が担う部分も大きいと考えられ、役割を分担していく必要性を感じている。市教委・町教委主催の教育支援委員会等で話題にしていかなければならない。

II 目指す方向性・学校像や幼児児童生徒の姿

【目指す学校像】

- 恵まれた環境を生かし、地域と共に育ち、地域に感謝される特色ある活動を展開する学校
- 子どもの思いや願いに応え、自立と社会参加につながる教育を実践する学校
- 本分校の連携強化により、学習活動及び学校行事の充実を図る学校

【目指す児童生徒の姿】

- 健康・・・心身ともに健康になろうと努力する子ども
- 誠実・・・喜びをもって精一杯努力する子ども
- 自立・・・自分のことは自分の力で成し遂げようとする子ども

Ⅲ 具体的な目標・取組・推進指標

具体的な目標・取組	推進指標
<p>○文部科学省委託の実践研究充実事業を活用した授業改善とその成果発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かづのスタンダード」の具現 ・公開研究会開催 <p>○「街は大きな教室だ」を合言葉に、本物の体験重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の学習と地域における学習との計画的関連付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業づくりのツール（りんごプロジェクト一覧表、人と関わる力段階表、授業づくりチェックリスト）を活用した授業改善 ・「かづのスタンダード」の実践と改善 ・11月の公開研究会での成果発表 ・全校縦割りによるりんごプロジェクト、小学部の〇〇プロジェクト、中学部のにこにこりんごパン屋さん、高等部のリンゴレンジャーの内容と回数の充実
<p>○児童生徒の豊かな社会参加を目指す教育活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育の推進 ・地域の人材を活用した作業学習の質の向上 ・進路学習・職業教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校間交流の内容の充実 小～花輪小、花輪北小 中～花輪一中、花輪二中、小坂中 高～十和田高、小坂高、花輪高 ・居住地校交流実施率向上 小：60% 中：40% ・作業製品改善会議の年2回開催 ・希望する生徒の就職率100%達成 ・ハローワークと連携した就労先開拓促進
<p>○地域の学校等への自校解決体制構築のための支援充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼・保、親子教室への支援 ・地域の職員全体研修会とのコラボによる地域研修会開催 ・地区高校3校への支援充実 ・地域支援部員の専門性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の幼保・学校等での園内・校内研修のニーズに応じた内容充実 ・親子教室への協力と、関係機関情報共有 ・鹿角地区職員研修会で話題提供とロールプレイによる理解推進（年2回） ・高校支援隊としての各校研修会開催（年1回） ・校外研修会への積極的参加（一人1回以上）
<p>○地教委・自立支援協議会との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前→就学後→通級指導教室との関わり ・医療・福祉・教育の連携システムの具体化 	<ul style="list-style-type: none"> ・通級指導教室担当との連携強化 ・鹿角・小坂自立支援協議会への協力（子ども部会・大人部会 各年2回）